

附属幼稚園だより 第15号

令和2年11月24日発行 文責：室野 亜津子

「したい 知りたい やってみよう」が
いっぱい幼稚園

幼稚園教育 その3

その2に引き続き「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の後半をお伝えします。

(6) 思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

(7) 自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることをもちかえりながら関わるようになる。

(8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

(9) 言葉による伝え合い

先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

(10) 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

このような姿が育まれるよう、園では年少・年中から遊びを通して必要な経験をさせています。年長になると、確かにこのような姿が見られるようになります。

12月行事予定

- 1(火)～4(金) 休園
- 7(月) 弁当再開日
- 8(火) 副免教育実習開始
- 10(木) 幼小交流(年長)
- 18(金) 弁当終了日
- 21(月) クリスマスお楽しみ会
副免教育実習終了
- 24(木) 冬休み前の会
- 25(金)～1月7(木) 冬休み

どんぐり公園に行ってきました



幼稚園ではどんぐり公園と呼んでいますが、正式には昭和公園です。西浦上中学校の前の地下道を通ると出口のすぐ右手にあります。



主に椎の実がたくさん落ちていました。子どもは木の実を拾うというだけで、なぜあんなにも楽しそうなのでしょう。好奇心に目を輝かせていました。

また、起伏や長い階段があり、不安定な場所で、自然に体のバランスを取っています。高い段差を上手に下りたり、上ったりしています。園にはない環境で、運動面でも来る価値があります。

自然の中はやっぱりいいですね。